2010年度　後期

授業コード：22508

授業科目名：解剖学Ⅱ　　受講者数：138 名

担当教員名：近藤　尚武　　回答者数：125 名

学　　部：医療福祉 121　総合政策 0　科学技術 0　無回答 4

学科専攻：理学療法 69　作業療法 54　言語聴覚 0　視覚機能 0　看　護 0

保健福祉 0　生活福祉 0　精神保健 0　総合政策 0　知能情報 0

人間環境 0　無回答 2

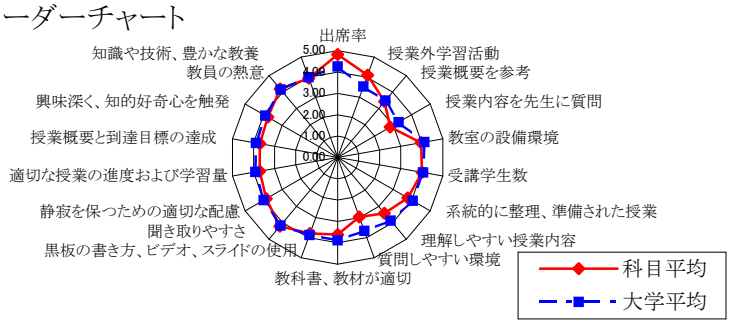
学　　年：1年 122　2年 0　3年 0　4年 0　無回答 3

設問文		5 そうである	4 まあそうである	3 どちらともいえない	2 あまりそうとはいえない	1 そうとはいえない	科目平均	大学平均
A:授業への取り組みについて								
問1．	授業の欠席回数は何回でしたか　⑤0回 ④1～2回 ③3～4回 ②5～6回 ①7回以上	99	19	1	0	0	4.82	4.26
問2．	授業の他に学習活動（予習・復習・課題・レポートなど）をしましたか	45	50	19	7	0	4.10	3.53
問3．	授業を受講する前に授業概要を確認しましたか	26	30	45	18	6	3.42	3.48
問4．	授業内容でわからないことを先生に質問しましたか	13	15	57	19	21	2.84	3.30
B:学習環境について								
問5．	教室の設備環境（広さ、明るさ、外部からの雑音、実習器具など）は適切でしたか	37	55	27	4	2	3.97	4.12
問6．	受講学生数は（講義受講者数、演習・実習時の教員数など）適切でしたか	41	53	25	3	3	4.01	4.06
C:授業内容・方法・成果について								
問7．	授業は系統的に整理、準備されていましたか	32	50	33	5	5	3.79	4.06
問8．	授業内容は理解しやすかったですか	18	45	38	18	6	3.41	3.86
問9．	授業中に質問しやすい環境でしたか	10	26	50	26	12	2.97	3.66
問10．	教員が指定した教科書や参考書、教材や資料が適切で工夫がみられましたか	27	43	41	8	6	3.62	3.88
問11．	黒板の書き方、ビデオやスライドの使用は適切でしたか	29	47	43	5	1	3.78	3.87
問12．	授業中に声が十分に行き渡っていましたか	57	43	21	2	2	4.21	4.17
問13．	教員は授業中の静寂を保つために適切な配慮をしていましたか	32	53	33	5	2	3.86	3.99
問14．	授業のスピードおよび学習量は適切だったでしょうか	26	50	37	8	3	3.71	3.91
問15．	授業概要または授業始めに提示された到達目標は達成されましたか	20	57	40	6	2	3.70	3.89
問16．	授業内容は興味深く、知的好奇心を触発されましたか	29	51	36	5	4	3.77	3.91
D:授業の全般的印象								
問17．	教員の熱意を感じましたか	54	47	20	2	2	4.19	4.15
問18．	この授業で専門的な知識や技術、または豊かな教養が身につきましたか	32	60	29	3	1	3.95	4.00
問19．	総合的に判断すると満足できる授業でしたか	30	48	37	5	5	3.74	3.99

学生へのメッセージ

受講中に騒がしい点と小テストカンニング対策に関して、教員からの注意喚起の反復を継続実施するが、特に後者について、監視の徹底等をするよりも、要は学生諸君の自覚の向上（相互で注意しあう勇気を含め）が必須であり、それを待つのが教育的には望ましいと思う。教員態度の横暴とは具体的にどれかを指摘してほしいが、一方で、全員との面談では授業への良好な感触が大勢なので、当該学生の感受性の違いにもよるかもしれない。テストでの間違いは事前に一層注意するが、本目的に鑑みれば本質的にはマイナーであるので批判には及ばないと思う。それよりも、毎回のテスト作製による学生の知識習得への格別の教育努力に、学生としてより一層本気で応じるのが先決とも言えよう。ビデオ観察は医療人となる前段階として、医療の現実さと必至さ等を認識するには、重要であることを自覚すべきでしょう。

レーダーチャート



総合評価